



Neb:io

TurnPit

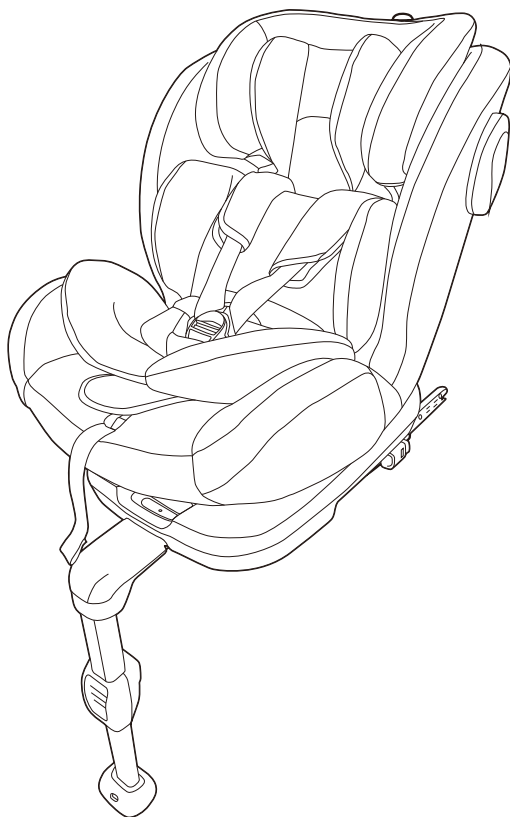
ターンピット

取扱説明書

保証書付き

対象年齢
0～11歳頃

対象体重
～36kg



目次

■ 目次	1
■ ご使用いただく前に	
■ 表示について	3
■ 安全にご使用いただくために	4
■ 取付けできる座席	6
■ 取付けできない座席	6
■ 各部の名称	7
■ お子さまの体重に合わせた使用方法	9
■ 本体の操作方法	
■ サポートレッグの設置	10
■ シートの回転	11
■ リクライニングの操作	12
■ ISOFIX の取付け方法	13
■ サポートレッグの設置・調節	15
■ チェックリスト (ISOFIX・サポートレッグ)	16
■ インナークッション・ベルトの操作方法	
■ インナークッションの調節	17
□ インナークッションの各部名称	17
■ 肩ベルトの調節	18
□ 肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法	18
□ 肩ベルト・腰ベルトをしめる方法	18
■ バックルの取付け・取外し方法	19
■ ヘッドレスト (肩ベルト) の高さ調節と位置の目安	
■ ヘッドレストの高さ調節	20
■ 肩ベルト位置の目安	20
■ ベビーシートモード (進行方向後向き) の使用方法	
■ 使用条件・お子さまを乗せる前の準備	21
■ お子さまの乗せかた	21
■ 肩ベルトの高さ	23
■ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	23
■ シートの回転	23
■ 走行前のチェックリスト (ベビーシートモード)	24
■ チャイルドシートモード (進行方向前向き・バックル使用) の使いかた	
■ 使用条件・お子さまを乗せる前の準備	25
■ お子さまの乗せかた	25

■ 肩ベルトの高さ	27
■ 肩ベルト・腰ベルトの長さ調節	27
■ シートの回転	27
■ 走行前のチェックリスト(チャイルドシートモード)	28
■ ジュニアシートモードへの準備	
■ 肩ベルト・肩ベルトパッドの取外し方法	29
■ バックルの取外し方法	32
■ ジュニアシートモード(車両シートベルト使用)の使用方法	
■ 使用条件・お子さまを乗せる前の準備	33
■ お子さまの乗せかた	34
■ 走行前のチェックリスト(ジュニアシートモード)	35
■ インナークッションのお手入れ	
■ インナークッションの各部名称	36
□ ヘッドレストクッションの洗いかた	36
□ インナークッションの洗いかた	36
■ 車両からの取外し方法	
■ サポートレッグの取外し方法	37
■ ISOFIX の取外し方法	38
■ シートカバーのお手入れ	
■ シートカバーの取外し方法	
□ シートカバーを外す前の準備	39
□ ヘッドレストカバーの取外し方法	39
□ 本体カバーの取外し方法	40
■ シートカバーの取付け方法	41
■ 本体カバーの洗濯方法	42
■ 本体と肩ベルト・腰ベルトのお手入れ	42
■ バックルのお手入れ	42
■ 保管方法	43
■ 製品情報	
■ 本体サイズ	43
■ 材質	43
■ 廃棄方法	43
■ 取扱説明書の保管方法	43
■ MEMO	44
■ 保証書	46

ご使用いただく前に

この度は「チャイルドシート TurnPit< ターンピット >」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書をよく読み、十分に理解の上正しく使用してください。
お読みになったあとも、取扱説明書収納ポケット(メッシュ)にて大切に保管してください。

- ・本製品はチャイルドシートの基準 ECE R44/04 に適合するセミユニバーサル仕様の ISOFIX 対応チャイルドシートです。
- ・ISOFIX 型チャイルドシートの取付け許可された座席に取付けることができます。ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全ての座席に取付けられるものではありません。車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書を参照してください。車種適合表については下記 URL より確認してください。
<http://www.nebio.jp/childseat/>
※車種適合表一覧は適宜更新しております。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの損害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『**危険**』、『**警告**』、『**注意**』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
△危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
△警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
△注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害が起こる可能性が想定されます。

安全にご使用いただくために



危険

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・エアバッグが装備された座席では、本製品を使用しないでください。
衝突時、エアバッグの作動により衝撃を受け、大変危険です。
- ・低体重で出生された未熟児はチャイルドシートを使用する前に、必ず医師または医療スタッフの指示に従ってください。
- ・使用条件に適合しないお子さまや、取付けできない座席などでは使用しないでください。
- ・車両の座席の種類などにより、取扱説明書通りにチャイルドシートを固定できない場合は、使用しないでください。
- ・お子さまがチャイルドシートの上に立ち上がったり、中腰になったりしないように注意してください。
- ・ベビーシートモード・チャイルドシートモードでご使用の場合は、肩ベルトと腰ベルトが正しく装着され、左右のバックルタングが差し込まれていることを確認してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合は、お子さまを座らせた時に、車両側のシートベルトが正しい位置で調節されていることを確認してください。
- ・車に取付ける際は、車両の取扱説明書及び本書・本体表示に従い正しく取付けてください。
- ・車に取付ける際は、必ず ISOFIX とサポートレッグで固定してください。
車両のシートベルトや、ひもなどでは固定しないでください。



緊急時

緊急時は、保護者の方がバックルの赤いボタンを押し、肩ベルト・腰ベルトを(ジュニアシートモードの場合は、車両シートベルト)を外してすみやかにお子さまを解放し、車外に脱出させてください。



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・肩ベルト・腰ベルトがゆるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付いて、窒息するおそれがあります。肩ベルト・腰ベルトは正しい長さに調節してください。
- ・車両シートベルトに傷等がある場合は、その座席に取付けないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- ・お子さまがバックル解除ボタンを押してしまう可能性があります。バックルタングがバックルから外れていないことを確認してください。
- ・チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。
- ・短時間でもお子さまを車内に 1 人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また、予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者の方が同乗してください。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、必ず肩ベルトガイドを使用してください。衝突時、車両のシートベルトが肩から外れて危険です。
- ・本製品は車両のシートベルトで固定することはできません。
- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、肩ベルトガイドは肩と同じ位の高さになるよう調節し、車両のシートベルトがお子さまの体にあうようにして、使用してください。

- ・ジュニアシートモードでご使用の場合、チャイルドシート固定機能付きシートベルトの時は、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸部が圧迫されます。



警告

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・シフトレバーやパーキングブレーキなど、操作に支障をきたす場合は、助手席に取付けないでください。
- ・2ドアや3ドアの車両で後部座席に人が乗車する場合は、助手席には取付けないでください。
- ・お子さまが座っていない時でも、本製品は必ず ISOFIX とサポートレッグで設置してください。ブレーキをかけた時など、車内に転がり、運転の妨げになることがあります。



注意

次の事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、危険にさらされるおそれがあります。

- ・直射日光があたると、本体やバックルタンクが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。日差しが強い日は、日陰に駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。
- ・走行中はチャイルドシートの操作及び調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないよう注意してください。
- ・チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒して怪我の原因になります。本書に記載されていない使い方をしないでください。
- ・チャイルドシートを車のシート可動部や、ドアなどにはさまないよう、十分注意してください。
- ・チャイルドシートの改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- ・お子さまだけの乗り降りはさせず、必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- ・シートカバーなどの縫製部分やウレタンなどのクッション材を外したまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取替えたりしないでください。
(衝突時の安全性能に影響を及ぼすおそれがあります。)
- ・車両の座席に、クッションや座布団を敷いてチャイルドシートを取付けないでください。
チャイルドシートがしっかり固定されません。
- ・座席の表皮素材(皮など)及び、形状によっては、取付けた車両の座席に傷がつくおそれがあります。
- ・チャイルドシートを雨風にさらさないでください。
- ・固定されていない物を、車内に置かないでください。急ブレーキや衝突の際に、お子さまに当たるおそれがあります。
- ・使用歴のわからない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

取付けできる座席

本製品は ISOFIX 型チャイルドシートの取付けを認可された座席に取付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付けバーを装備した全ての車両に取付けられるものではありません。

ご使用いただく際は、必ず車種適合表及び、車両の取扱説明書で右記の ISOFIX サイズ等級に適用しているか確認してください。

※車種適合表は下記 URL より確認してください。

<http://www.nebio.jp/childseat/>

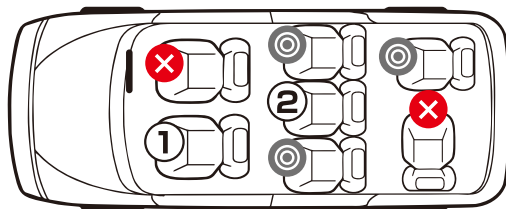
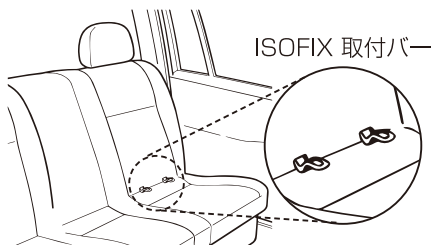
車種適合表一覧は適宜更新しております。

《製品の詳細》

- ・グループ：0+、1、2、3
- ・カテゴリ：セミユニバーサル(準汎用)

本製品の ISOFIX のサイズ等級

取付け方向	サイズ等級	固定具
進行方向後向き	D	ISO/R2
進行方向前向き	B1	ISO/F2X



- ② 正しい設置位置
- ① 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていなければ設置可能
- ② ISOFIX 取付けバーがある場合のみ設置可能

取付けできない座席



注意

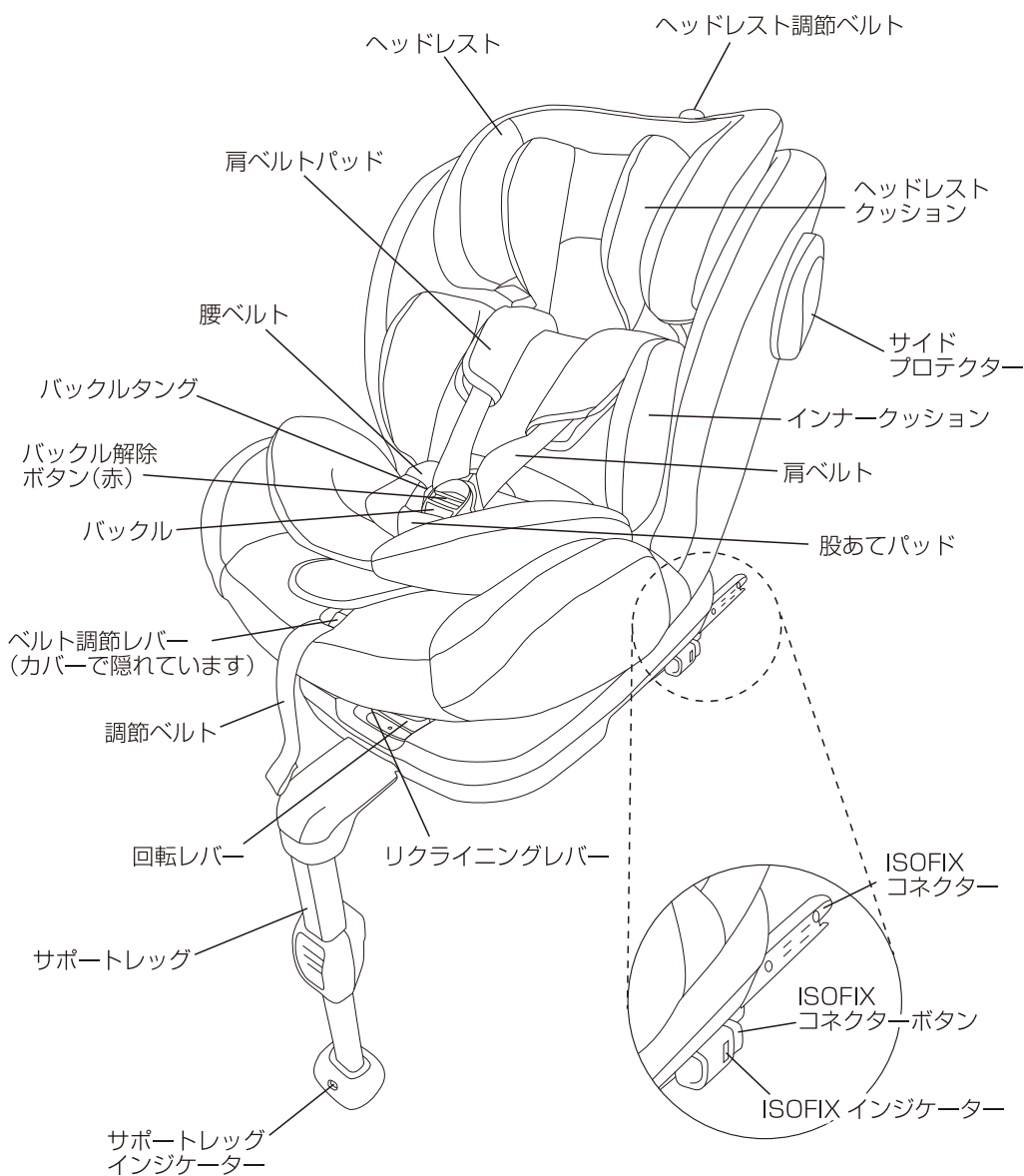
下記条件のいずれか 1 つでもあてはまる場合は、その座席への設置・使用は不可

※下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は設置・使用しないでください。

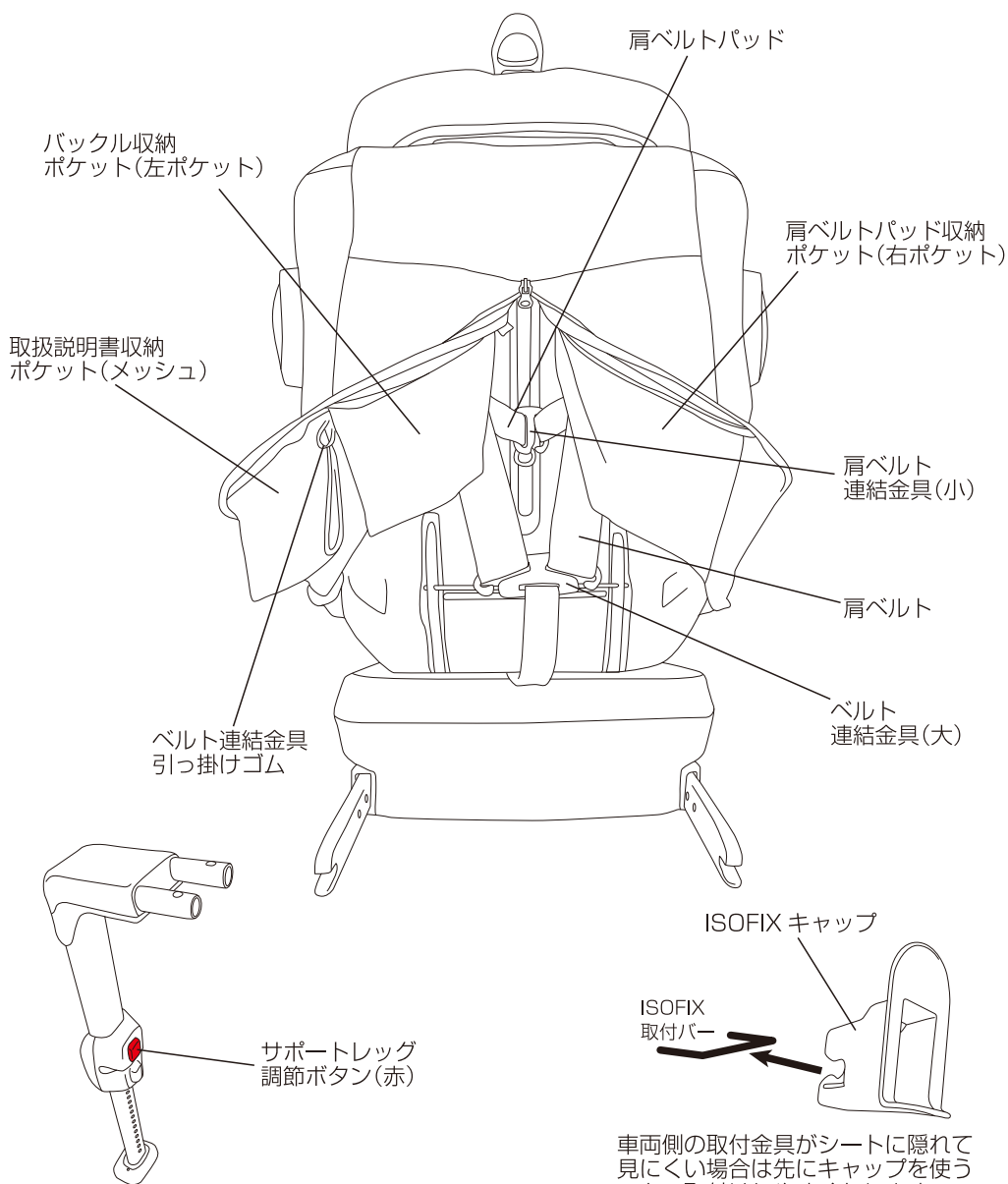
- ISOFIX 取付けバーが装備されていない座席。
- サポートレッグの先端部や設置面に座席のスライドレールや床下収納スペースなどがある座席。
- フロントエアバッグ装備の座席。
※サイドエアバッグのみの場合は使用可能です。
- 進行方向に対して、横向きまたは後ろ向きの座席。
- 座面の形状に高低差があり、取付けた際に不安定になる座席。
- 床や座席の形状などにより、サポートレッグが正しく取付けできない座席。
- 極端なバケットシート
※座面の中心部分が深く凹んでいる座席。

各部の名称

前面



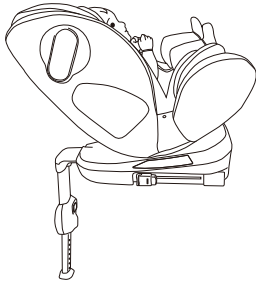
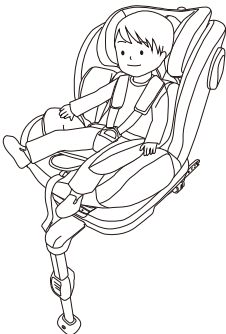
背面



お子さまの体重に合わせた使用方法

※本製品は 360 度回転する、子ども用拘束チャイルドシートです。

ECE R44/04 に合格

体重の条件	2.5 ～13kg	9 ～18kg	15 ～36kg
使用の状態			
取付け方法	ISOFIX+サポートレッグ		
取付け方向	進行方向後向き バックル使用 ※生後6ヶ月未満のお子さまは 必ずヘッドレストクッション ・インナークッションを 使用してください。	進行方向前向き バックル使用	進行方向前向き バックル使用不可 車体シートベルト使用



危険

本製品のインナークッション・ヘッドレストクッションを誤った取扱いをすると本来の機能を果たさず大変危険です。必ず本書の P17（インナークッションの調節）を確認し正しく使用してください。



注意

取外したインナークッション・ヘッドレストクッションは車内に放置しないでください。車内に転がり運転の妨げになり思わぬ事故につながるおそれがあります。

本体の操作方法

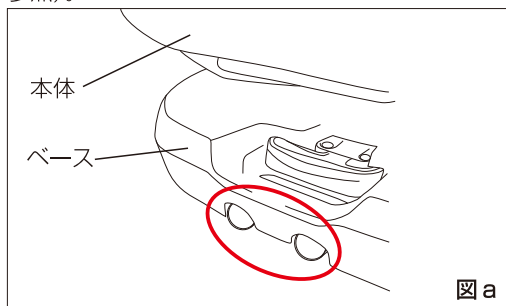
サポートレッグの設置

本製品は、本体とサポートレッグが外れた状態で梱包しております。
ご使用前にサポートレッグを本体に装着してください。

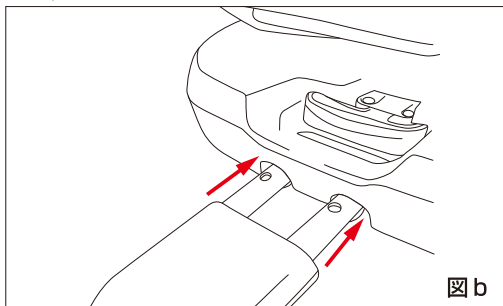


動画で解説
サポートレッグ
装着・取外し

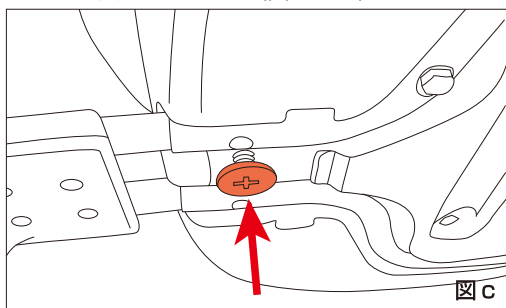
①サポートレッグの差し込み口を確認する（図 a 参照）。



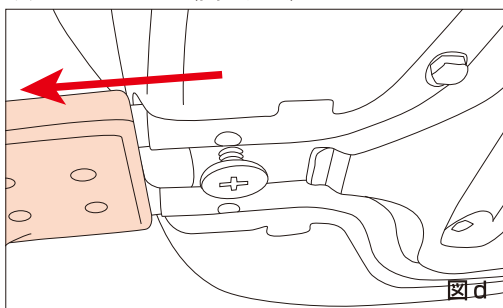
②差し込み口にサポートレッグを差し込む（図 b 参照）。



③本体裏面の赤丸ボタンを「押しながら」サポートレッグを奥まで差し込む（図 c 参照）。

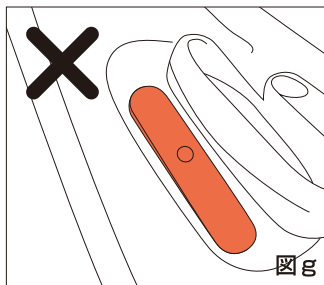
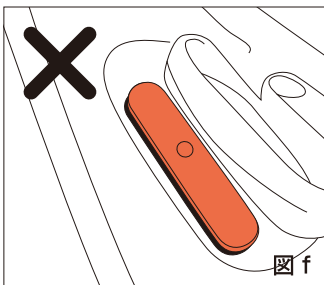
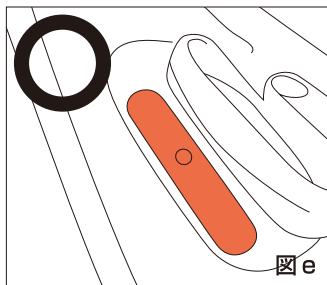


④装着後はサポートレッグが抜けにくいことを確認してください（図 d 参照）。



⑤装着後は図 e の赤いプラスチックを押し込んで浮いていないか確認してください。

※浮いていると回転レバーが当たり、回転しません。（図 f・図 g は×）

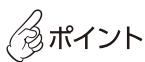


シートの回転

本製品はお子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転させることができます。

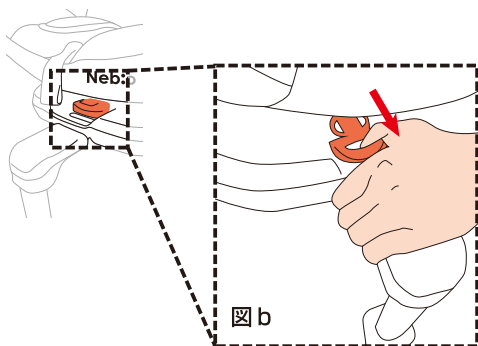


動画で解説
シートの回転



ポイント シート回転時に車両シートが干渉して回転しづらい場合は車両のシートを干渉しない程度に倒してから回転してください。

- ①図bのように回転レバーを手前に引きながら座席を回転させてください。
- ②動きはじめたら回転レバーから手を離し、「カチッ」と音がしロックされる位置まで座席を回転させてください。
- ③ロック音がし回転が完了したら、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。



危険

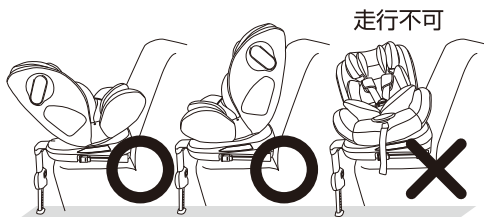
- お子さまが乗った状態で回転される場合はゆっくりと回転させてください。
- 進行方向後向き・進行方向前向きでの使用にはそれぞれ制限(体重)がございます。
ご使用前に必ず条件を確認してください。



ポイント 90度回転進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。

警告

- シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能をはたさず、大変危険です。
- 走行中は回転操作を絶対にしないでください。



注意

- 回転操作時はお子さまの指や手などを近づけないよう十分注意してください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。

リクライニングの操作

本製品はお子さまの成長に合わせて、前向き4段階・後向き1段階角度を調節することができます。



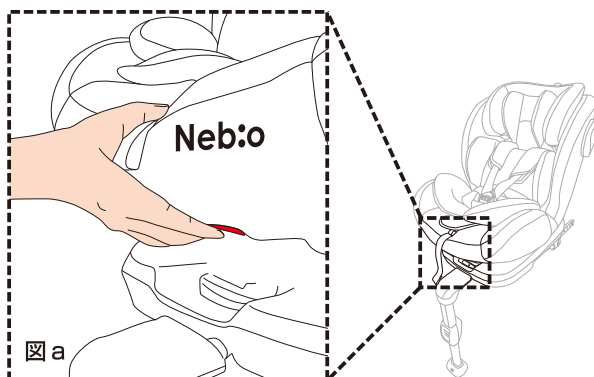
動画で解説
リクライニング
の調節方法

①座席前面裏面にあるリクライニングレバーを図aのように手前に引きながらシートのリクライニング角度を調節してください。

<後向きでの使用>

リクライニングを一番倒した状態でのみご使用ください。

一旦前向きでリクライニングを「4」の位置に合わせてから本体を後向きに回転させてください。回転後は、自動的に進行方向後向き「2」の位置にセットされます。後向きでのご使用の際は、リクライニング角度を必ず「2」の位置に合わせてください。



警告

操作後、シートが固定されていることを確認してください。
(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



注意

- ・リクライニング操作時は、お子さまの指や手を近づけないよう十分注意してください。手や指などがはさまれ、けがをすることがあります。
また、同乗者の手元も同様に十分注意してください。
- ・ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。

進行方向後向き		進行方向前向き		
体重 2.5 ～13kg		体重 9 ～ 36kg		
 2	 1	 2	 3	 4
注意		お子さまの体重が9kg 未満の場合、進行方向前向きで絶対に使用しないでください。		

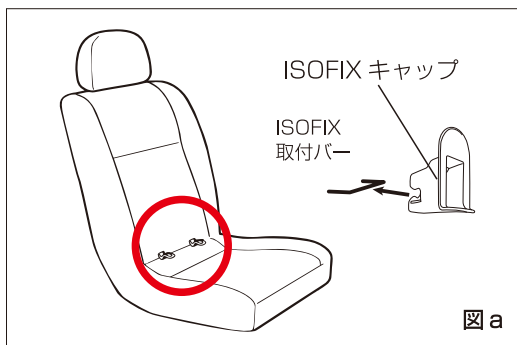
ISOFIX の取付け方法



動画で解説
ISOFIX の
取付け方法

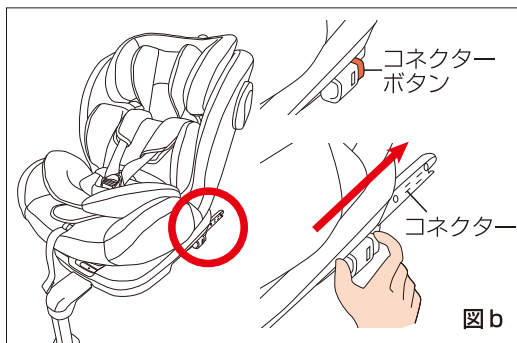
ポイント 車両側ヘッドレストとチャイルドシートが干渉してチャイルドシートが正しく取付けられない場合は、車両側ヘッドレストを最上段に固定するか、車両側ヘッドレストを外してください。

①車両側の ISOFIX 取付けバーの位置を確認してください。

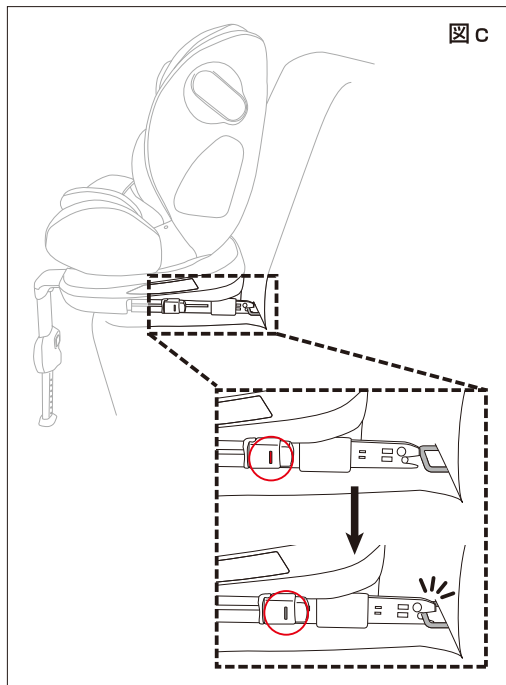


ポイント ISOFIX 取付けバーが車両シートにかくれて見にくい場合は、付属の ISOFIX キャンプを使用することでチャイルドシートが取付けやすくなります(図 a 参照)。※車のシートによっては ISOFIX キャンプが取付けられない場合があります。その場合は、ISOFIX キャンプを使用せずにチャイルドシートを取付けてください。

②ISOFIX コネクターボタンを押してコネクターを最大限まで引き出します(図 b 参照)。



③ISOFIX コネクターを車両側の ISOFIX 取付けバーに 2 本同時に「カチッ」と音がするまでまっすぐ差し込んでください(図 c 参照)。



④ISOFIX インジケーターが 2 本とも「緑」になっていることを確認してください(図 c 参照)。

※「カチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へしっかりと押し込む(図 d 参照)。



重要

チャイルドシートの左右を持ちながら、チャイルドシート本体が車両背もたれに接するまで強く押し込んでください(図 d 参照)。

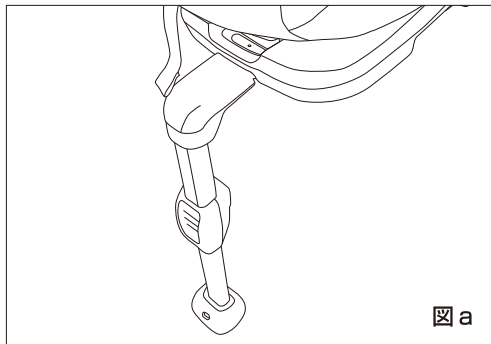
※「カチッ」と音がしなくなるまで車両シート側へしっかりと押し込む。

サポートレッグの設置・調節

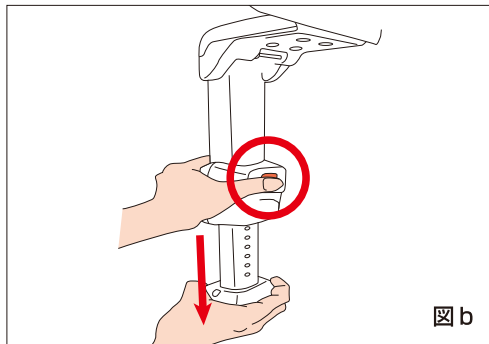


動画で解説
サポートレッグ
の設置・調節

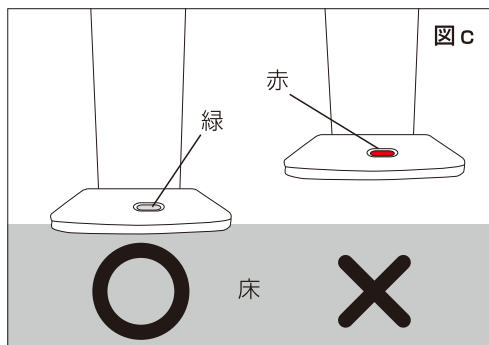
①サポートレッグがしっかりと設置できているか確認してください。



②サポートレッグ調節ボタンを片手で押しなが
らもう片方の手でサポートレッグをのばします。



③車両の床面に接地するまでのばします。車両
の床面に接地完了すると、サポートレッグイン
ジケーターが「赤」⇒「緑」にかわります（図 c 参
照）。

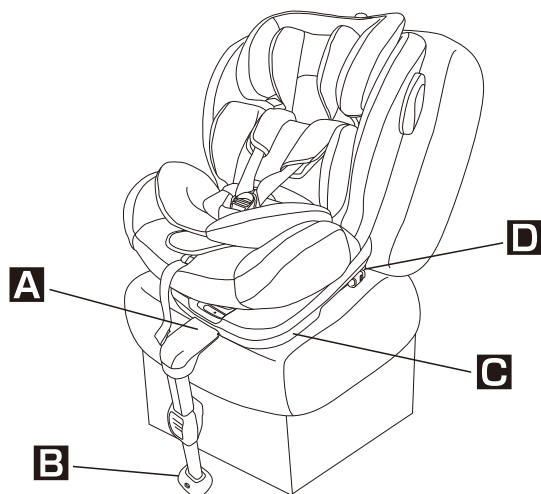


重要

必ずインジケーターが緑になるようサポートレッグをのばしてください。

チェックリスト(ISOFIX・サポートレッグ)

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



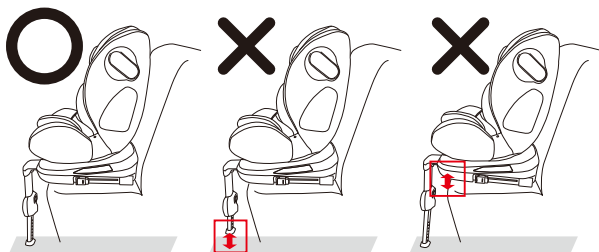
チェックリスト

- ☐ **A** サポートレッグが本体にしっかりと差し込まれていること。
差し込んだ際、本体側の赤いプラスチックが浮いていないか確認してください。
- ☐ **B** サポートレッグが床面に接地し、サポートレッグインジケーターが「緑」になっていること。
- ☐ **C** 本体底面が、車両シートの座面にしっかりと接していること。
- ☐ **D** ISOFIX コネクターが車両側の ISOFIX 取付けバーに固定され、ISOFIX インジケーターが2本とも「緑」になっていること。本体が車両背もたれに接するまでしっかりと押し込まれていること（「カチッ」と音がしなくなるまでしっかりと押し込む）。



危険

サポートレッグを調節する際、本体底面は座面に、サポートレッグは床面に、それぞれ接するよう設置してください。

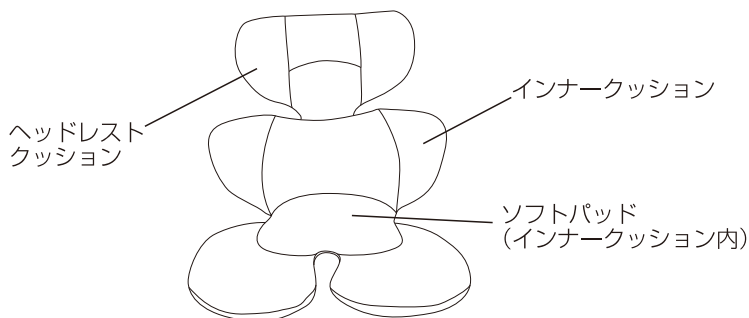


インナークッション・ベルトの操作方法

インナークッションの調節

-  **ポイント**
- ・生後6ヶ月頃までは全てのインナークッションの使用を推奨します。
 - ・ご使用中、窮屈に感じたらお子さまの成長や体格にあわせてインナークッションを調節し使用してください。

□ インナークッションの各部名称

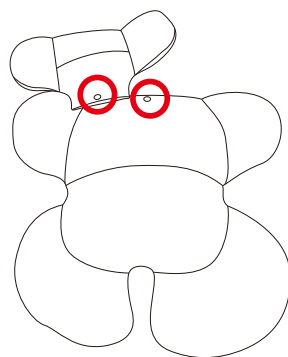
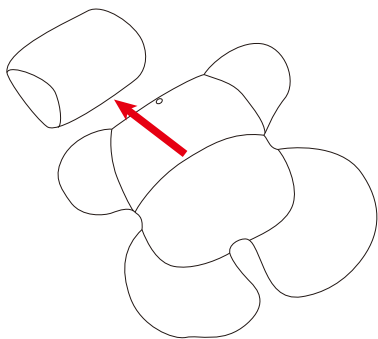


●ソフトパッドはお子さまの成長に応じて取外してください。

※ソフトパッドはインナークッション背面のポケットから取外せます。

●ヘッドレストクッションはお子さまが成長し窮屈な状態になったら取外してください。

※ヘッドレストクッションはスナップボタンで取外可能です。



注意

洗濯時は、ソフトパッドを取出してから手洗いで洗濯してください。
※ソフトパッドは洗濯不可となります。



警告

ソフトパッドは、必ず正しい向きで使用してください。
向きが異なっていると、製品所定安全機能を発揮できないおそれがあります。

肩ベルトの調節



警告

- かさばった服を着せたまま、使用しないでください。
- 肩ベルトと腰ベルトを正しい位置に装着してください。



動画で解説

肩ベルトの調節



ポイント 肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。

□ 肩ベルト・腰ベルトをゆるめる方法

①ベルト調節レバーを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります(図a 参照)。

※肩ベルトパッドを引いても
肩ベルトはゆるみません。

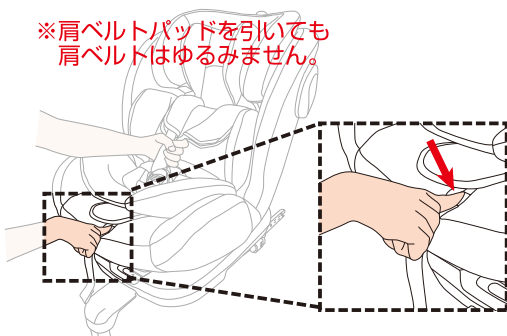
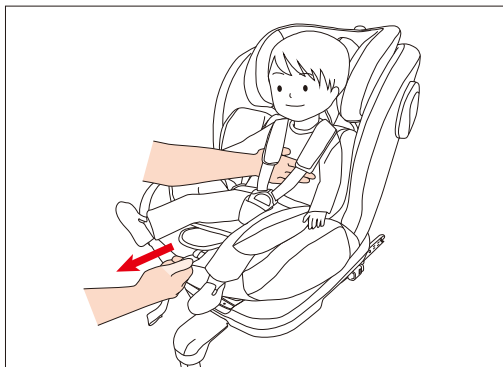


図 a

□ 肩ベルト・腰ベルトをしめる方法

①肩ベルト・腰ベルトにゆるみがないか確認して調節ベルトを引っ張ってください。

※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは大変危険です。
お子さまと肩ベルトのすきまは、手のひらが入る
程度に調節してください。



警告

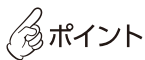
- 必ず肩ベルトと腰ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと衝突時にお子さまがシートから飛び出すおそれがあります。
- 肩ベルトと腰ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻き付いて窒息するおそれがあります。

バックルの取付け・取外し方法



動画で解説

バックルの
取付け・取外し方法



ポイント

- バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように安全上、固くしております。
- バックルタングは左右、組み合わせてからバックルに差し込んでください。組み合わせないと差し込めません。

- ①バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタングを外します。
- ②お子さまをチャイルドシートに深く座らせませす。
※インナークッションをご使用の際は、インナークッションにあわせてお子さまを深く座らせてください。
- ③お子さまの左右の腕を肩ベルトに通します。



注意

左右の肩ベルトがねじれていないことを確認してください。

- ④左右のバックルタングを組み合わせてください(図 b 参照)。
- ⑤組み合わせてから「カチッ」と音がするまでバックルに差し込んでください。
バックルに差し込みが完了するとバックルが緑にかかります(図 c 参照)。

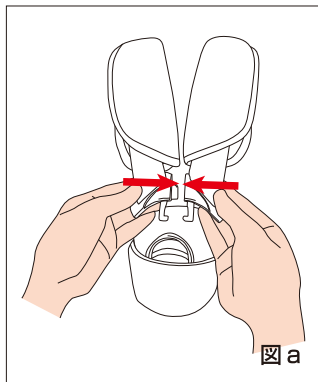


図 a

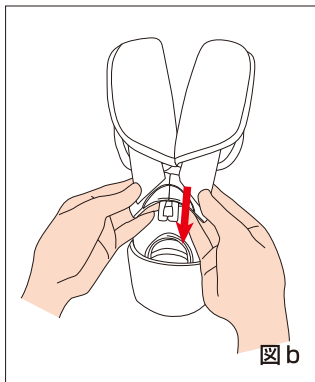


図 b

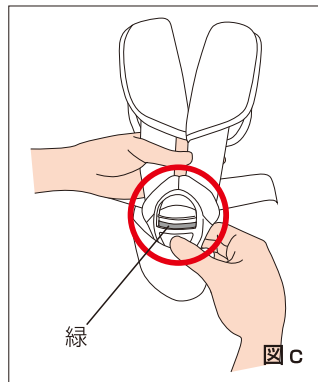


図 c



警告

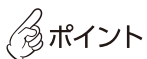
- タングを差し込んだ際、バックルが緑の表示になったことを必ず確認してください。
- タングを差し込んでも、バックルが緑の表示にならない場合は、絶対に使用しないでください。

ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節と位置の目安

ヘッドレストの高さ調節



動画で解説
ヘッドレストの
高さ調節



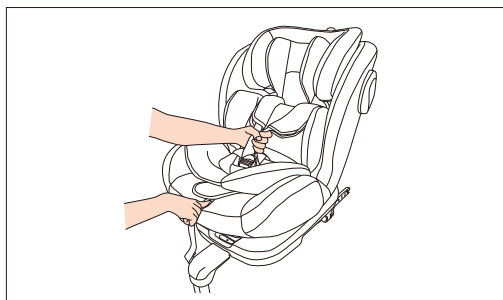
ポイント

ヘッドレストの調節は肩ベルトをゆるめてから行う必要があります。
※肩ベルトの調節は、P18 を参照してください。

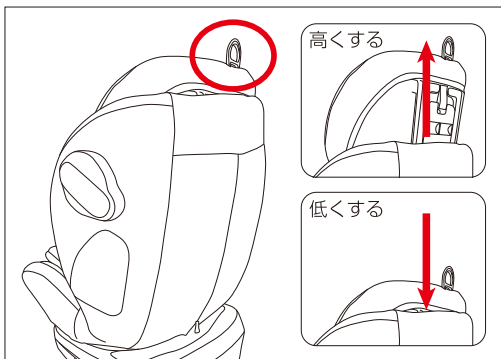
ヘッドレストの位置は8段階調節することが出来ます

①ヘッドレストを高くする準備として肩ベルトをゆるめます(P18 参照)。

※肩ベルトをゆるめる際は、肩ベルトパッドを引いても、肩ベルトはゆるみません。



②ヘッドレスト調節ベルトを上引き上げて肩ベルトを正しい高さに調節してください。



③適切な位置でヘッドレスト調節ベルトから手を離してください。

④ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。



注意

ヘッドレストと肩ベルトの高さは進行方向によって異なります。
肩ベルトは図 a の位置を目安に調節してください。

肩ベルト位置の目安

ヘッドレストを適切な位置に調節してください。その目安はお子さまの肩とヘッドレストのすき間に指が一本くらいとなります(図 b 参照)。

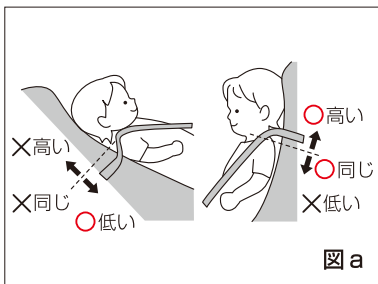


図 a



図 b

ベビーシートモード(進行方向後向き)の使用方法



警告

お子さまの体重が9kgになるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。

使用条件

- お子さまの体重が9kgになるまでは必ず進行方向後向きで使用してください。
- お子さまの体格があえば、体重13kgまで進行方向後向きで使用可能です。
- 生後6ヶ月未満のお子さまには、インナークッション・ヘッドレストクッションを使用してください。窮屈に感じたらお子さまの成長や体格にあわせて調節し使用してください。

お子さまを乗せる前の準備



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。

※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。

お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

①インナークッション・ヘッドレストクッションがついているか確認。

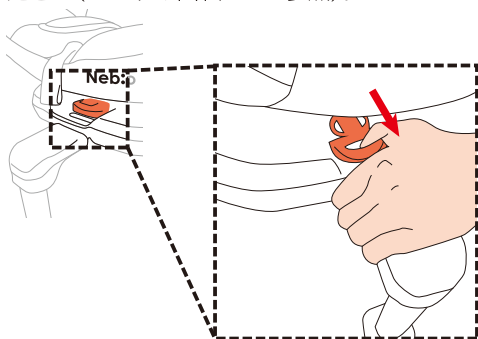
※窮屈な場合はインナークッションの中材を取出してください(インナークッションの調節P17参照)。

②本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ☐ ISOFIX コネクターが緑の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P13 参照)
- ☐ サポートレッグが緑の表示で、正しく設置できていること。
(サポートレッグの設置 P15 参照)
- ☐ リクライニングの角度は【進行方向後向き】になっていること。
(リクライニングの操作 P11 参照)

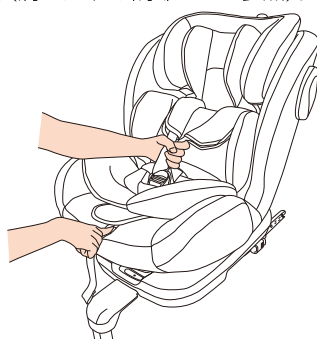
お子さまの乗せかた

①お子さまを乗せやすくする為、必要に応じて乗せやすい方向へチャイルドシートを回転させてください(シートの回転 P12 参照)。

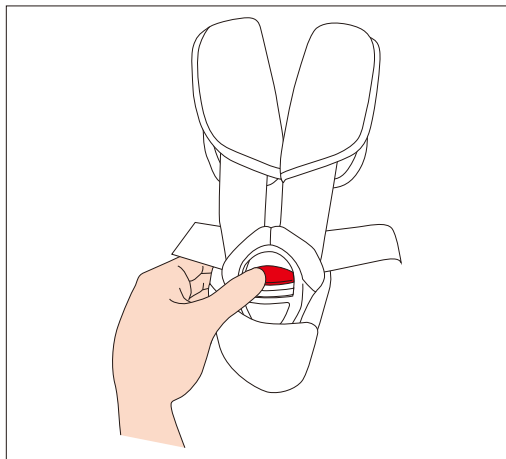


②肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引っ張っても肩ベルトはゆるみません(肩ベルトの調節 P18 参照)。



③バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタン
グを外してください(バックルの取外し方法
P19 参照)。



④お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお
子さまの腕を通してください。



危険

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてく
ださい。

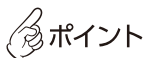
誤った姿勢で乗せていると、お子さまを
正しく固定できず急ブレーキ時や衝突
時、お子さまが本製品より飛び出し思わ
ぬ事故につながるおそれがあります。

必ず正しい姿勢で乗せてください。



⑤左右の肩ベルトにねじれがないか確認し、左右
のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音が
するまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバッ
クルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。
差し込み後、バックルが緑の表示になっているこ
とを確認してください。



ポイント

・バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように安全上、固くして
おります。



警告

バックル差し込み後は、必ずバックルが緑の表示になっていることを確認してくだ
さい。

肩ベルトの高さ

⚠ 危険

肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの肩ベルトが締めつけられるおそれがあります。

お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節 P20 参照)。

①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。

※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

⚠ 危険

・進行方向後向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも低い位置で使用してください(図 a 参照)。

※お子さまの肩より高い位置で使われますと、お子さまが肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

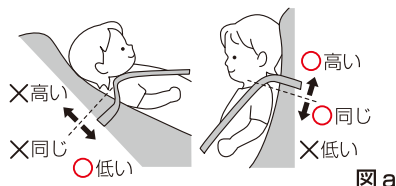


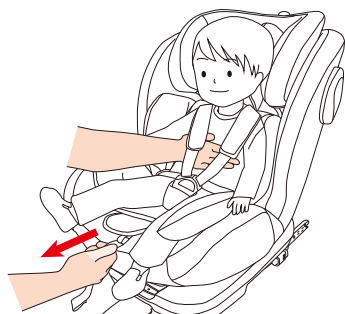
図 a

⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(肩ベルトの調節 P18 参照)。



⚠ 注意

調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くなりすぎるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

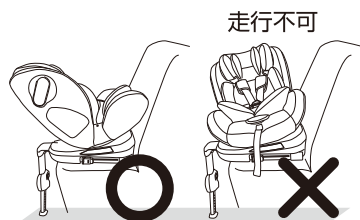
シートの回転

①チャイルドシートを進行方向後向きに回転させ、固定してください(シートの回転 P12 参照)。

②回転完了後、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。

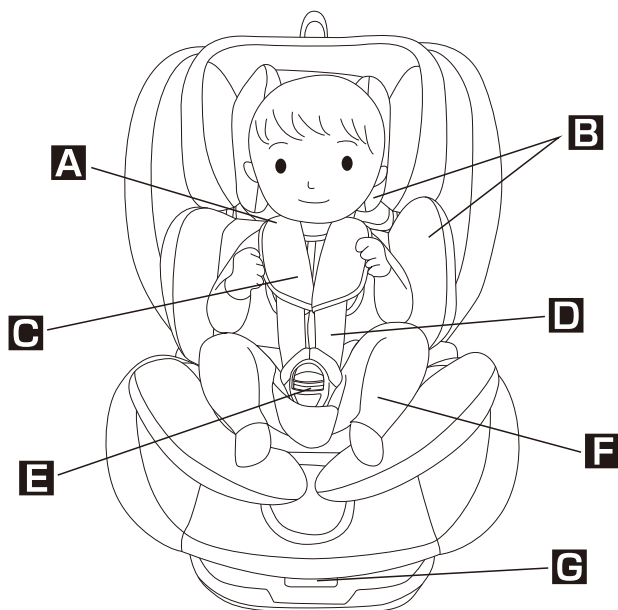
⚠ 危険

- ・進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。
- ・走行中は必ず、【進行方向後向き】で使用してください。



走行前のチェックリスト(ベビーシートモード)

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** インナークッションとヘッドレストクッションが正しく取付けられていること。
- ☐ **C** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること。(手のひらが入る程度)
- ☐ **D** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **E** バックルタングが差し込まれ、バックルの表示が緑になっていること。
- ☐ **F** お子さまが正しい位置で座っていること。
- ☐ **G** リクライニングの角度が正しい位置で設置していること (9kg 未満は【進行方向後向き】)。

- ・お子さまを降ろす際は、降ろしやすい方向へシートを回転させてください。
- ・バックルを外し、お子さまの腕を肩ベルトから抜いて、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。



注意

- ・お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。
- ・お子さまを降ろした後は、必ずシートは進行方向前向き、又は進行方向後向きで固定してください。

チャイルドシートモード(進行方向前向き・バックル使用)の使いかた



警告

必ずお子さまの体重が9kgを超えてから、【進行方向前向き】で使用してください。
体重14kg未満のお子さまは必ずバックルを使用してください。

使用条件

- お子さまの体重が9kg以上であること。
- お子さまの体格があれば、体重13kgまで進行方向後向きで使用可能です。
- 14kg未満のお子さまは、バックルを使用していただく必要があります。

お子さまを乗せる前の準備



警告

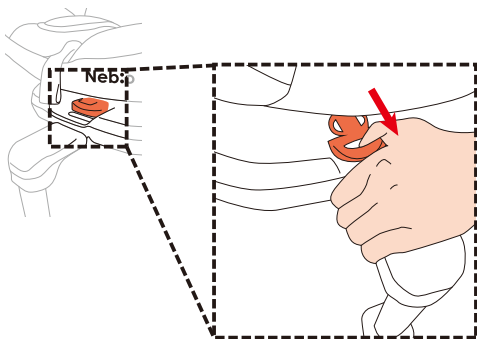
本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ☐ ISOFIX コネクターが緑の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P13 参照)
- ☐ サポートレッグが緑の表示で、正しく設置できていること。
(サポートレッグの設置 P15 参照)

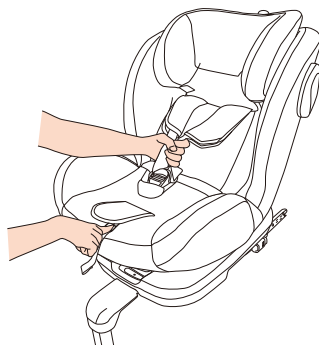
お子さまの乗せかた

①お子さまを乗せやすくする為、必要に応じて乗せやすい方向へチャイルドシートを回転させてください(シートの回転 P12 参照)。

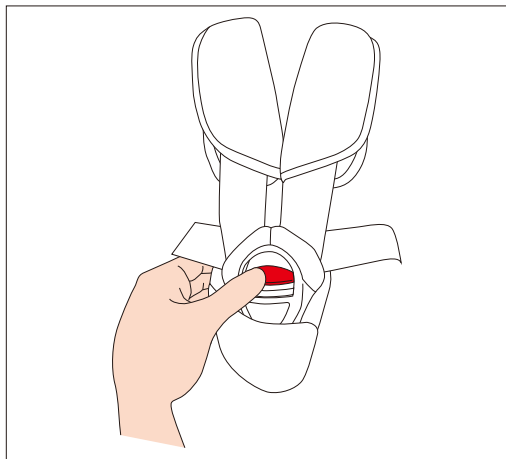


②肩ベルトをゆるめてください。

※肩ベルトパッドを引っ張っても肩ベルトはゆるみません(肩ベルトの調節 P18 参照)。



③バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタン
グを外してください(バックルの取外し方法
P19 参照)。



④お子さまを深く座らせて、左右の肩ベルトにお
子さまの腕を通してください。

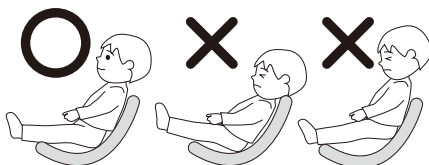


危険

お子さまを必ず、正しい姿勢で乗せてく
ださい。

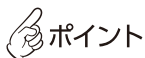
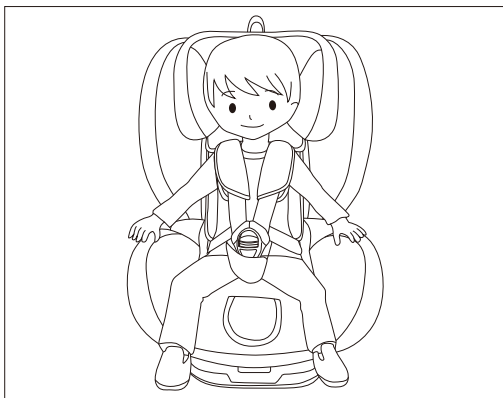
誤った姿勢で乗せていると、お子さまを
正しく固定できず急ブレーキ時や衝突
時、お子さまが本製品より飛び出し思わ
ぬ事故につながるおそれがあります。

必ず正しい姿勢で乗せてください。



⑤左右の肩ベルトにねじれがないか確認し、左右
のバックルタングを組み合わせ、「カチッ」と音が
するまでバックルに差し込んでください。

※肩ベルト・腰ベルトがきつい場合は無理にバッ
クルを差し込まず肩ベルトをゆるめてください。
差し込み後、バックルが緑の表示になっているこ
とを確認してください。



ポイント

・バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように安全上、固くして
おります。



警告

バックル差し込み後は、必ずバックルが緑の表示になっていることを確認してくだ
さい。

肩ベルトの高さ

⚠ 危険

肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの肩ベルトが締めつけられるおそれがあります。

お子さまを乗せて高さ調節をする際は、肩ベルトにゆとりがあることを確認してから作業をおこなってください(ヘッドレスト(肩ベルト)の高さ調節 P20 参照)。

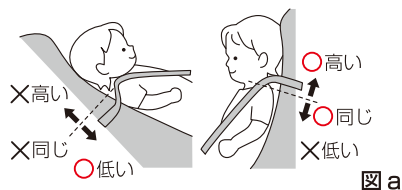
①お子さまを乗せてから、肩ベルトの高さを確認し、調節してください(図 a 参照)。

※調節前に肩ベルトにゆとりがあることを確認してからおこなってください。

⚠ 危険

・進行方向前向きでのご使用時は、お子さまの肩よりも高い位置で使用してください(図 a 参照)。

※お子さまの肩より低い位置で使用されますと、装着時、不快になったり衝撃時、肩ベルトから抜け思わぬ事故につながるおそれがあります。

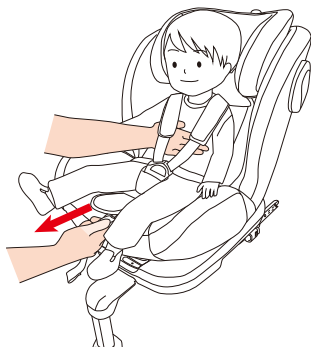


⚠ 注意

お子さまを乗せた状態で肩ベルトの高さ調節をおこなう際は、お子さまの首や頭部に負担がかからないように、優しく、ゆっくりと調節をおこなってください。

肩ベルト・腰ベルトの長さ調節

①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらが入る程度に長さを調節してください(肩ベルトの調節 P18 参照)。



⚠ 注意

調節ベルトを引っ張る際、肩ベルトが強くしまるおそれがあります。勢いよく引っ張らないようにしてください。

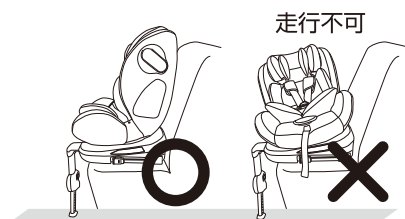
シートの回転

①チャイルドシートを進行方向前向きに回転させ、固定してください(シートの回転 P12 参照)。

②回転完了後、必ずシートを左右にゆすり固定されていることを確認してください。

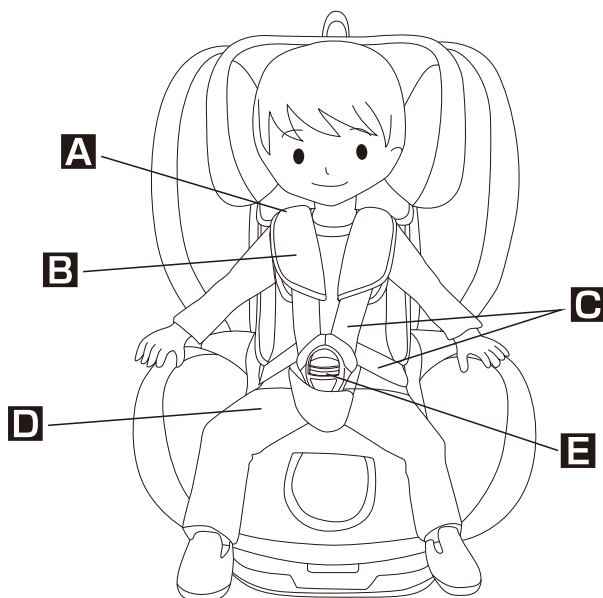
⚠ 危険

- ・進行方向横向きは、お子さまの乗せ降ろしの際に使用してください。
- ・走行中は必ず、【進行方向前向き】で使用してください。



走行前のチェックリスト(チャイルドシートモード)

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** 肩ベルトが正しい位置に調節されていること。
- ☐ **B** 肩ベルトがお子さまの体にフィットしていること(手のひらが入る程度)。
- ☐ **C** 肩ベルト・腰ベルトにねじれがないこと。
- ☐ **D** お子さまが正しい位置で座っていること。
- ☐ **E** バックルタングが差し込まれ、バックルの表示が緑になっていること。

警告

バックル解除ボタン(赤)はお子さまの力でも外れないように、安全上固くしておりますがお子さまが成長すると、自身で外してしまうおそれがあります。バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

- お子さまを降ろす際は、降ろしやすい方向へシートを回転させてください。
- バックルを外し、お子さまの腕を肩ベルトから抜いて、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

注意

- お子さまを降ろした際、必ずバックルタングはバックルに差し込んだ状態にしてください。
- お子さまを降ろした後は、必ずシートは進行方向前向き、又は進行方向後向きで固定してください。

ジュニアシートモードへの準備

肩ベルト・肩ベルトパッドの取外し方法



動画で解説

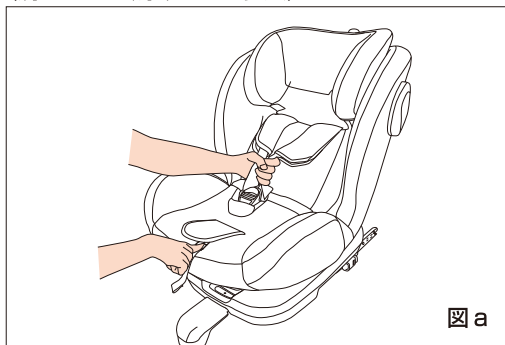
肩ベルトの
取外し方法



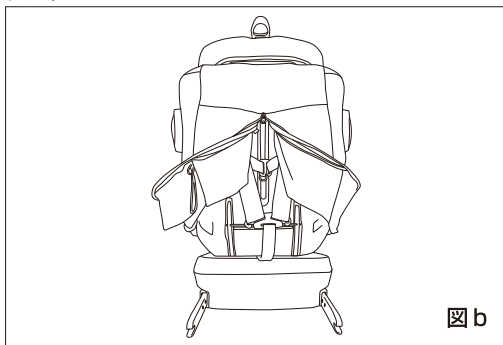
ポイント

・肩ベルトを外す際は、肩ベルトを長めに引き出しておくと作業がしやすくなります。

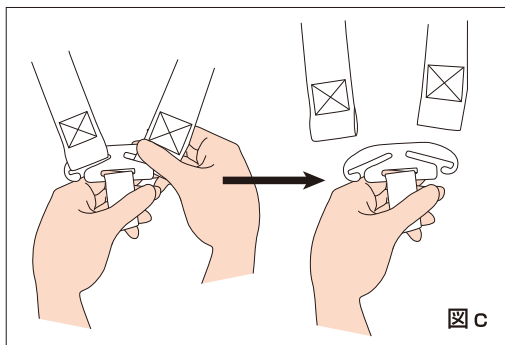
①肩ベルトをゆるめてください(図 a 参照)。
(肩ベルトの調節 P18 参照)



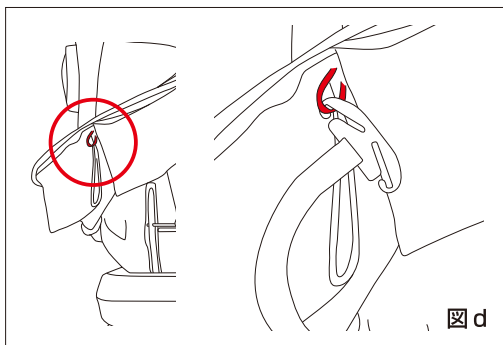
②本体背面のファスナーを開けてください(図 b 参照)。



③ベルト連結金具(大)より左右の肩ベルトを外してください(図 c 参照)。



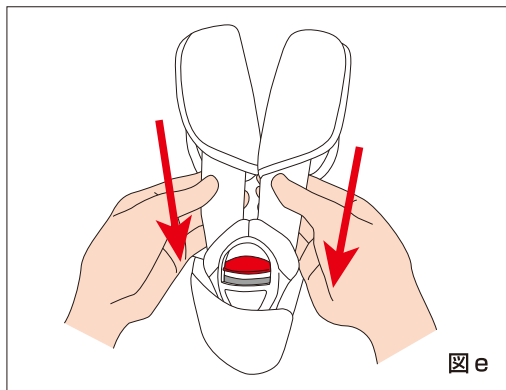
④ベルト連結金具は背面ファスナー付近のベルト連結金具引っ掛けゴムに引っ掛けて収納してください(図 d 参照)。



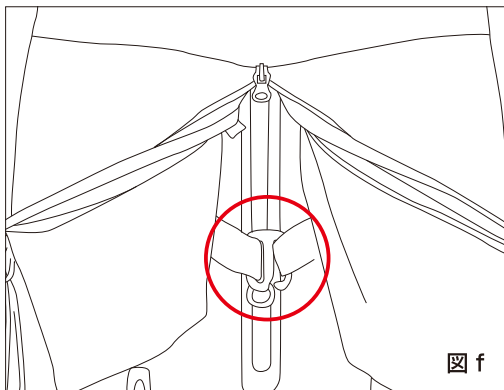
注意

ベルト連結金具を引っ掛けた状態で、調節ベルトを引っ張るとゴムが切れるおそれがあります。取扱いには注意してください。

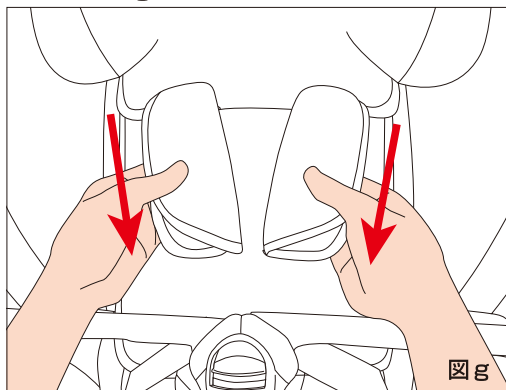
⑤前側より、肩ベルトを手前に引っ張ってください(図 e 参照)。



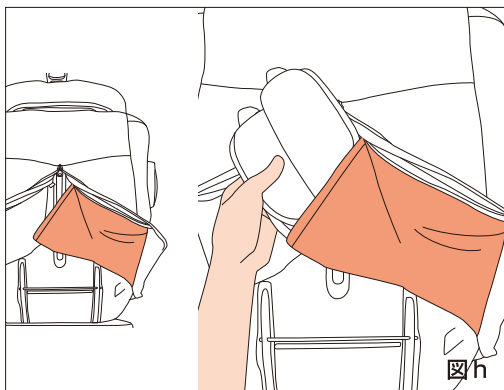
⑥背面の肩ベルト連結金具(小)より右側の肩ベルトパッドを外してください(図 f 参照)。



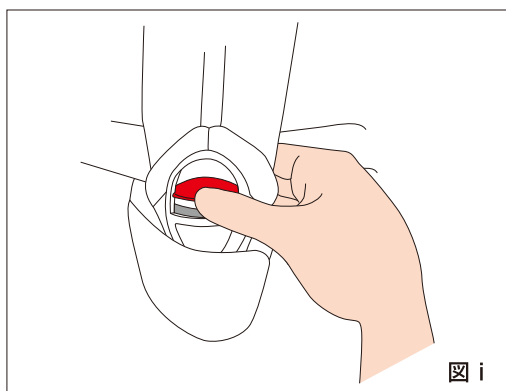
⑦前側より、肩ベルトパッドを手前に引っ張ってください(図 g 参照)。



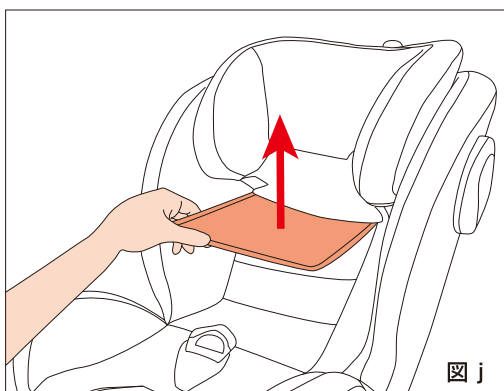
⑧肩ベルトパッドは背面の「肩ベルト収納ポケット」に収納してください(図 h 参照)。



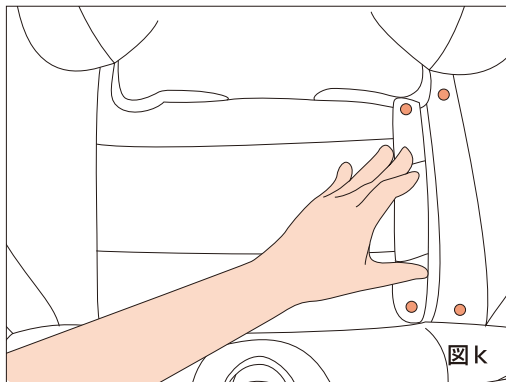
⑨バックル解除ボタン(赤)を押し、バックルタンクを外してください(図 i 参照)。



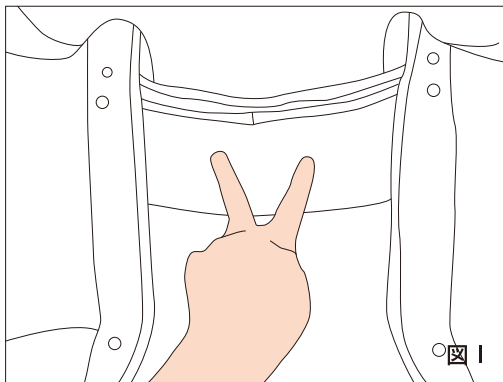
⑩背もたれカバーをヘッドレストの方にめくってください(図 j 参照)。



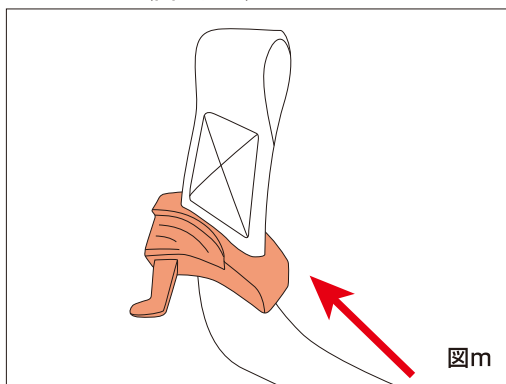
⑪背もたれクッションの上下、左右4箇所にあるボタンを外してください(図k参照)。



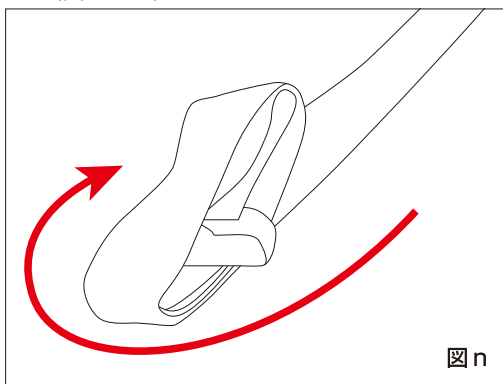
⑫背面の肩ベルト収納ポケットの位置を確認してください(図l参照)。



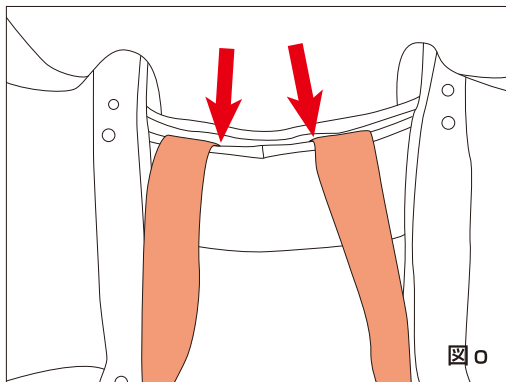
⑬バックルタングを肩ベルト先端部分まで移動させてください(図m参照)。



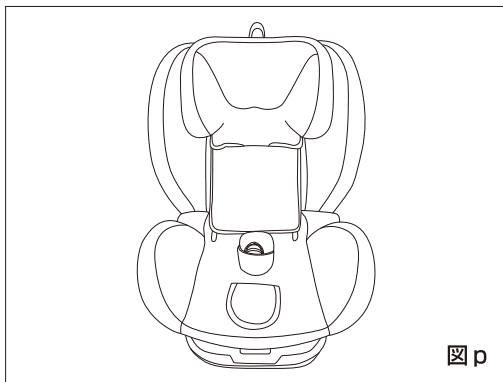
⑭バックルタングと肩ベルトを一緒に巻いてください(図n参照)。



⑮巻き終わったら、肩ベルト収納ポケットに収納してください。※左右それぞれ収納



⑯収納後は、背もたれクッションのボタン4箇所を留めて、元に戻してください。



バックルの取外し方法



動画で解説

バックルの
取外し方法



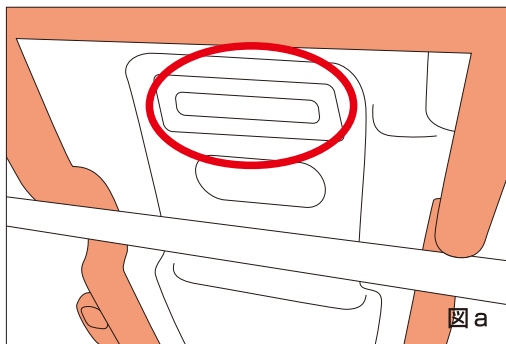
ポイント

- バックルを外す際は、シートを進行方向前向きにしてください。
- リクライニングは一番倒した状態【4】で作業をおこなってください。

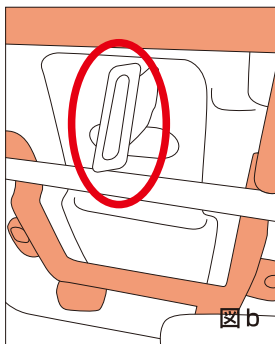
①シートを進行方向前向きにして、リクライニングを一番倒した状態【4】にしてください。

②リクライニングレバーの奥にあるバックル金具の位置を確認してください(図a参照)。

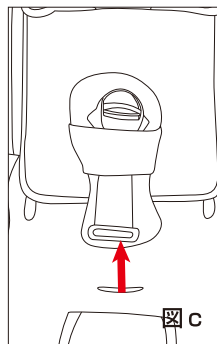
③バックル金具を縦にしてバックルが通っている穴に通しバックルを座面より抜いてください(図b・c参照)。



図a



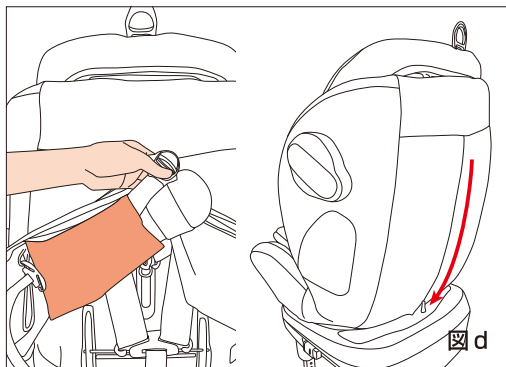
図b



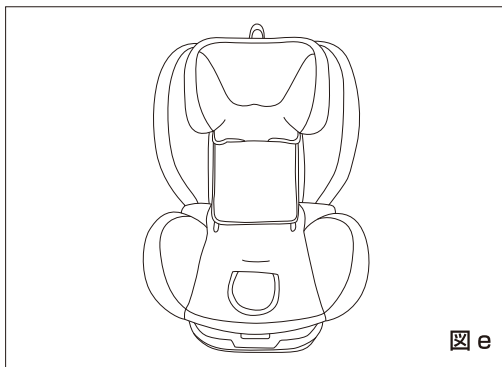
図c

④背面のバックル収納ポケットにバックルと股あてパッドを収納し、ファスナーを閉めてください(図d参照)。

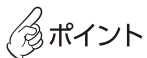
⑤バックルの取外しができたら完成です(図e参照)。



図d



図e



ポイント

- バックル金具を縦にする作業(③の操作)がやりにくい場合は、バックル金具を下に引っ張ると金具操作の稼動域が広くなり作業しやすくなります。

ジュニアシートモード(車両シートベルト使用)の使用方法



警告

体重 14kg 未満のお子さまは必ずバックルを使用してください。
必ず車両の3点式シートベルトでお子さまを固定してください。

使用条件

- お子さまの体重が 14kg 以上であること。
- ※ 14kg 未満のお子さまは、バックルを使用していただく必要があります。



警告

本製品は、必ずお車のシートに取付けてからお子さまを乗せてください。
※ お子さまを乗せた状態で、お車に取付けをしないでください。
お子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

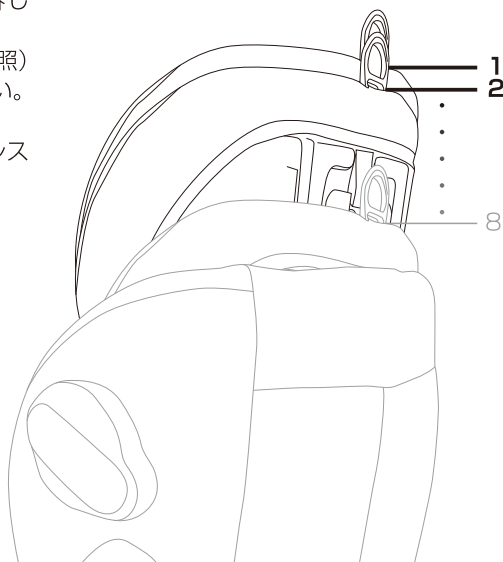
本製品が正しくお車に取付けできているか確認。

- ☐ ISOFIX コネクターが緑の表示で、しっかり奥まで差し込んでいること。
(ISOFIX の取付け方法 P13 参照)
- ☐ サポートレッグが緑の表示で、正しく設置できていること。
(サポートレッグの設置 P15 参照)

 **ポイント** ジュニアシートモードでは、本製品の肩ベルト・腰ベルト・バックルは使用せず
車両のシートベルトでお子さまを固定します。

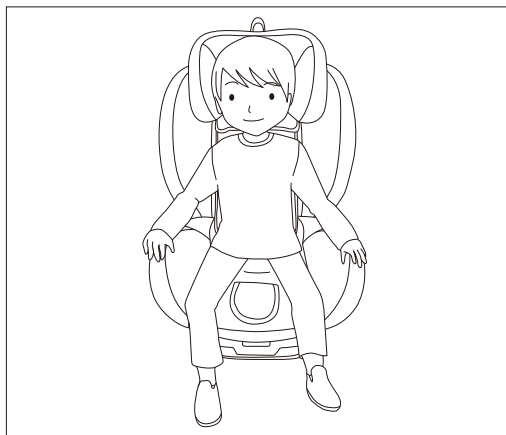
お子さまを乗せる前の準備

- ① 本製品の肩ベルト・腰ベルト・バックルを取外してください。
(肩ベルト・バックルの取外し方法 P29 ~ 32 参照)
 - ② ヘッドレストを一番高い位置に調節してください。
(ヘッドレストの高さ調節 P20 参照)
- ※ ジュニアシートモードでご使用の場合、ヘッドレストは上から2段階のみ使用可能となります。

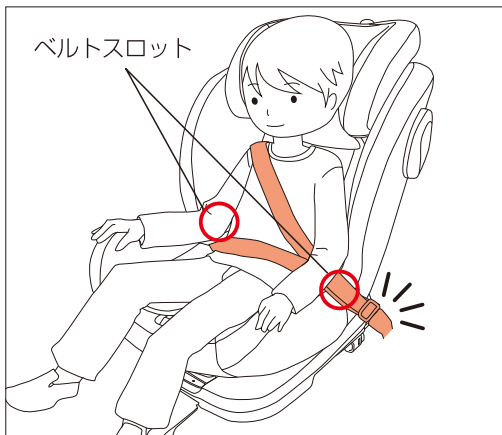


お子さまの乗せかた

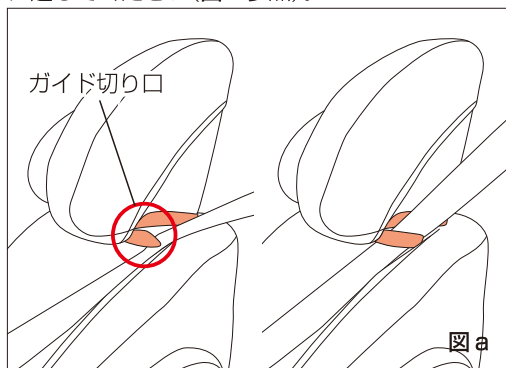
①お子さまを深く座らせてください。



②車両シートベルト(腰ベルト)が左右のベルトスロットを通して、車両バックルに差し込んでください。

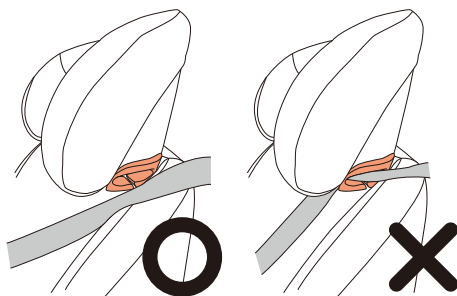


③車両シートベルトを、肩ベルトガイドの切り口に通してください(図a参照)。

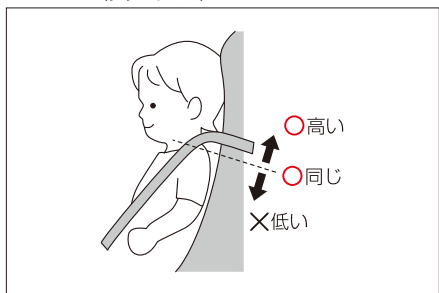


⚠ 警告

車両シートベルトは必ず、肩ベルトガイドの中を通してください。



④ヘッドレストの高さ調節で、車両シートベルトをお子さまの肩と同じか、肩より高い位置で調節してください(図b参照)。



⚠ 警告

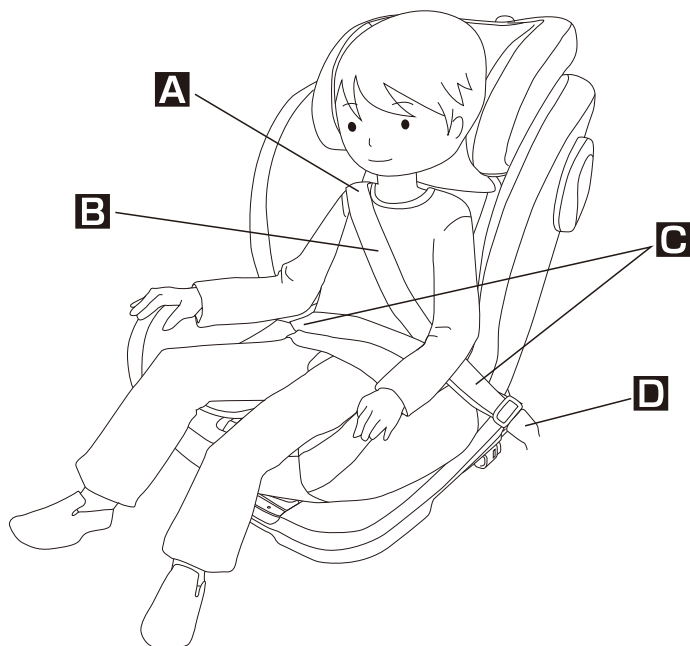
お子さまが成長し、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、体重が適応範囲内でも、本製品の使用を中止してください。

⚠ 警告

走行中や、ヘッドレストの高さ調節の際はお子さまの首に車両シートベルトがかかっていないことを必ず確認してください。

走行前のチェックリスト(ジュニアシートモード)

■安全にご使用いただくにあたり、ご使用前に下記項目を確認してください。■



チェックリスト

- ☐ **A** ヘッドレスト、車両シートベルトの高さが正しい位置で調節され、車両シートベルトが、肩ベルトガイドの中を通過していること。
- ☐ **B** 車両シートベルトにねじれやたるみがないこと。
- ☐ **C** 車両シートベルト(腰ベルト)が、左右のベルトスロットを通過していること。
- ☐ **D** 車両シートベルトが車両バックルに確実に差し込まれていること。



警告

お子さまの首に車両シートベルトがかかっていることを、必ず確認してください。



警告

お子さまが成長し、肩ベルトガイドの位置より高くなった場合は、体重が適応範囲内でも、本製品の使用を中止してください。

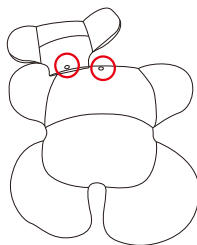
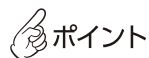
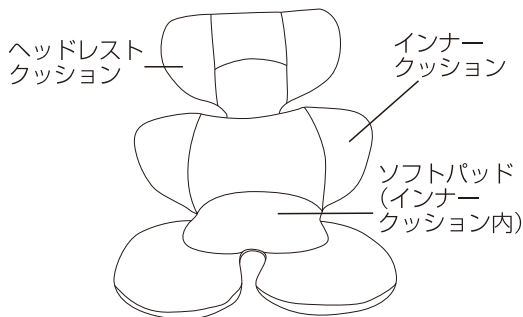


警告

お子さまが成長すると、車両バックルを自身で外してしまうおそれがあります。車両バックルは絶対に触ったり外さないよう、注意してください。

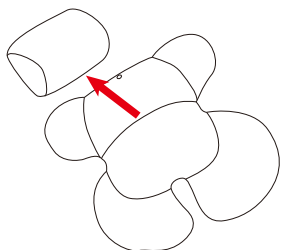
インナークッションのお手入れ

インナークッションの各部名称



ヘッドレストクッションとインナークッションは背面のボタンで取外し可能です。洗濯時は取外してください。

※ソフトパッドはインナークッション背面のポケットから取外せます。



注意

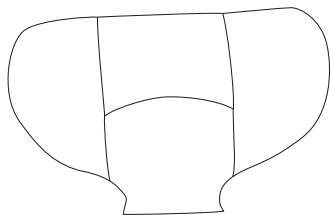
ソフトパッドは洗濯出来ませんので、固く絞った布で汚れを拭き取るようにしてください。



警告

ソフトパッドは、必ず正しい向きで使用してください。向きが異なると製品所定の安全性能が発揮できないおそれがあります。

☐ ヘッドレストクッションの洗いかた



ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず、手洗いしてください。

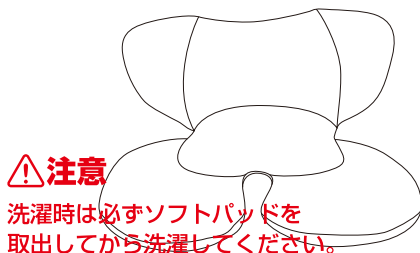
洗濯後は、乾いた布等で拭き取ってから日陰で平干ししてください。



注意

洗濯機は使用しないでください。

☐ インナークッションの洗いかた



注意
洗濯時は必ずソフトパッドを取出してから洗濯してください。

ソフトパッドを背面より取出し、ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず手洗いしてください。

洗濯後は、乾いた布等で拭き取ってから日陰で平干ししてください。



注意

洗濯機は使用しないでください。

車両からの取外し方法



動画で解説
車両からの
取外し方法



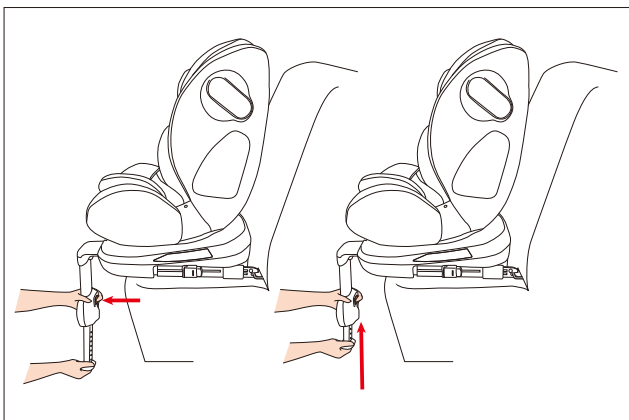
警告

本製品は、必ずお子さまを降ろした状態で車両から取外してください。

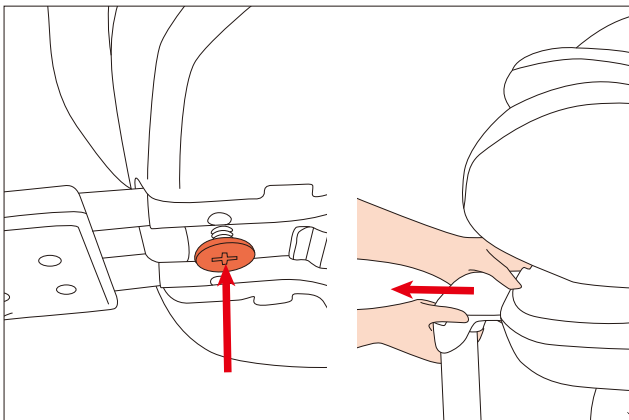
※お子さまを乗せた状態で車両から取外すとお子さまが落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

サポートレッグの取外し方法

①サポートレッグ調節ボタンを片手で「押しながら」もう片方の手で短く元に戻します。



②本体の裏面の赤いボタンを「押しながら」もう片方の手でサポートレッグを手前に抜いてください。



注意

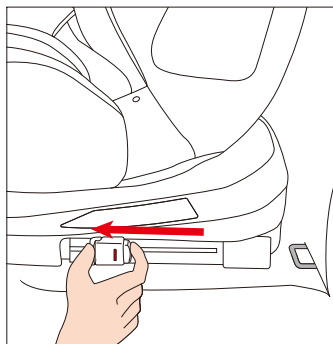
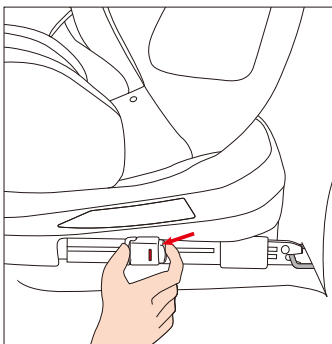
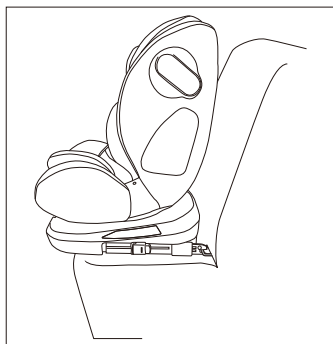
移動の際は必ず、レポートレッグを取外してください。

取付けたままの移動は、破損やけがにつながるおそれがあります。

ISOFIX の取外し方法



ポイント ISOFIX は、左右片方ずつ取外してください。



①ISOFIX コネクターボタンを「押しながら」真っ直ぐ手前に引き、ISOFIX を解除してください。

※反対側も同じ

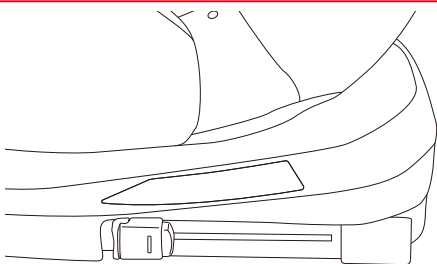


ポイント ISOFIX コネクターボタンを押すと、ロックが解除されインジケーターが「赤」に変わります。

⚠ 注意

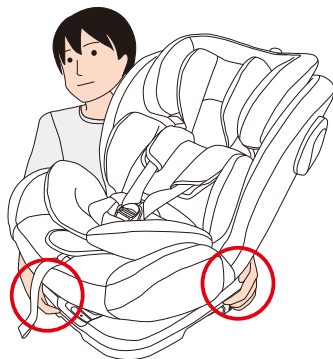
- 作業が完了したら ISOFIX コネクターが完全に収納されている事を確認してください。

※収納されていない場合、破損やけがの原因になる可能性があります。



⚠ 警告

- 本製品の肩ベルトやバックルを持って持ち上げたり、移動しないでください。
部品の破損や本製品の落下で、思わぬ事故につながる可能性があります。
- 本製品を持って移動する場合は、必ずベース部分を持つようにしてください。



シートカバーのお手入れ

シートカバーの取外し方法

□ シートカバーを外す前の準備

- 肩ベルト・肩ベルトパッドを外してください(肩ベルトの取外し方法 P29 参照)。
※肩ベルトをゆるめておくとう作業がしやすくなります。
- バックルを解除し、バックルタングを外してください(バックルの取外し方法 P32 参照)。
- 股あてパッドを取外してください。



▶ 動画で解説
シートカバーの
取外し方法

□ ヘッドレストカバーの取外し方法

 **ポイント** 上記の準備ができましたら、ヘッドレストを一番高い位置に調節してください。

①肩ベルトガイドに引っ掛けているゴムを肩ベルトガイドの切り口より左右とも取外してください(図a参照)。

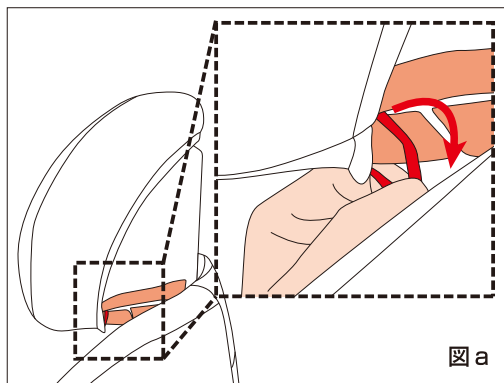


図 a

②カバー上部を引き、上部の穴からヘッドレスト調節ベルト抜いてください(図b参照)。

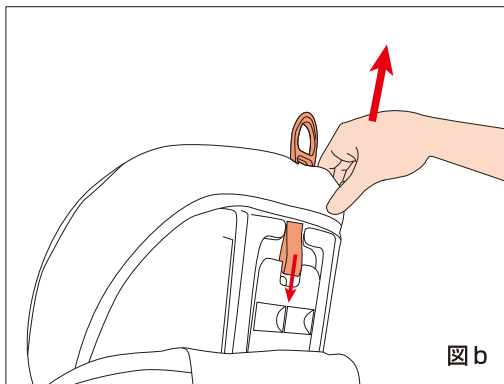


図 b

③ヘッドレストカバーの上部から前側にめくるようにシートを取外してください(図c参照)。

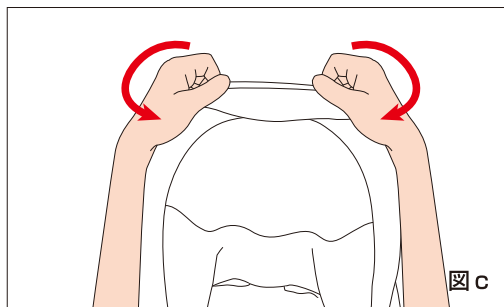


図 c

④ヘッドレストカバーの裏ポケットに保護板が入っています。保護板を取出してください(図d参照)。

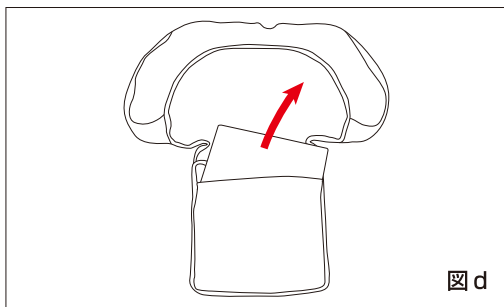
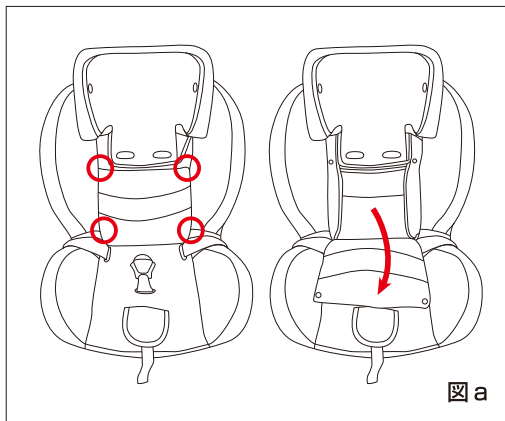


図 d

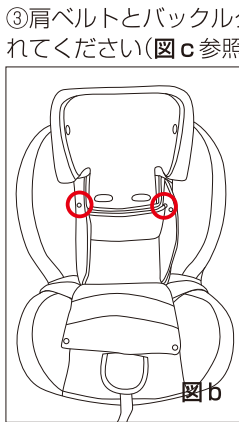
□ 本体カバーの取外し方法

 **ポイント** 本体カバーを外す際は、ヘッドレストの高さを上から2段目又は3段目の位置に調節してください。

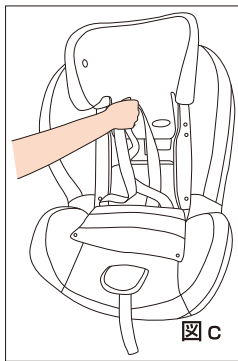
①背もたれクッションの四つ角にあるボタンをそれぞれ外してください(図a参照)。



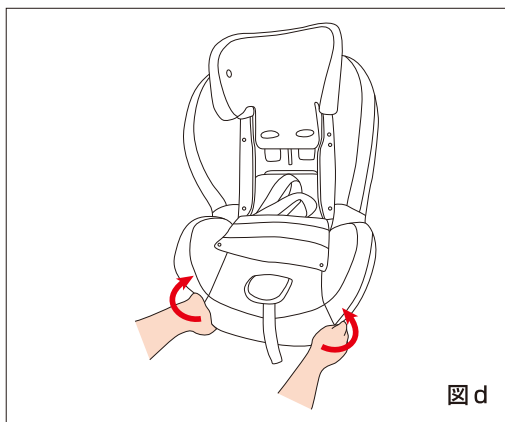
②肩ベルト収納ポケットの左右にあるボタンをそれぞれ外してください(図b参照)。



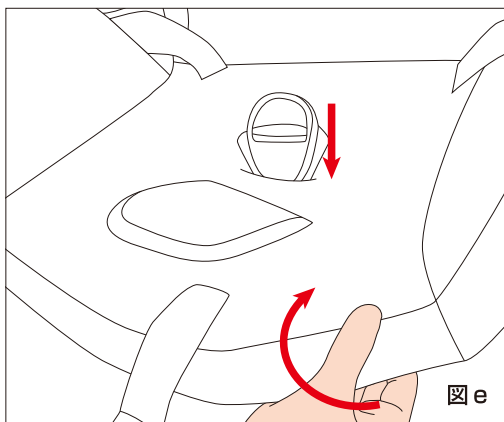
③肩ベルトとバックルタングをシートとの隙間に入れてください(図c参照)。



④本体カバーを前側よりめくってください(図d参照)。



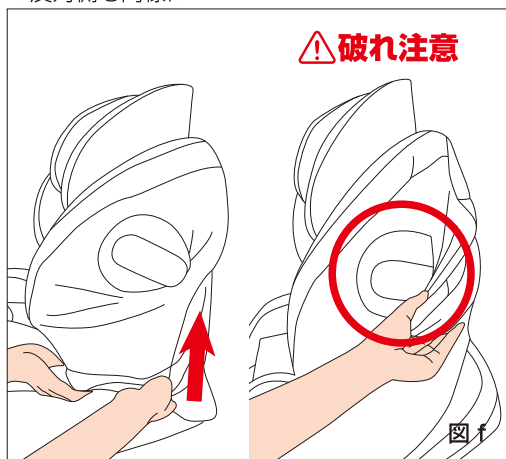
⑤バックル・調節ベルトはカバーの穴より抜いてください(図e参照)。



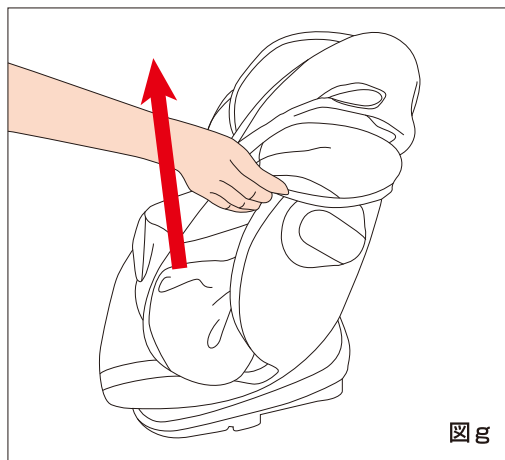
 **ポイント** ⑤のバックルをカバーの穴に入れる際は、バックルを斜めに傾けて入れると抜きやすくなります。

⑥サイドプロテクター部のカバーを外す際は破れないよう注意してください(図 f 参照)。

※反対側も同様に



⑦最後はカバー全体を上を持ち上げるようにして外してください(図 g 参照)。



ポイント ⑥のカバーを外す際、肩ベルトガイドに引っかかったりして外しにくい場合はヘッドレストを高い位置でお試ください。



注意

サイドプロテクター部分はカバーがしっかりはまっています。
カバーを外す際は破れないように注意してください。

シートカバーの取付け方法

シートカバーの取付けは、取外しの逆手順となります。

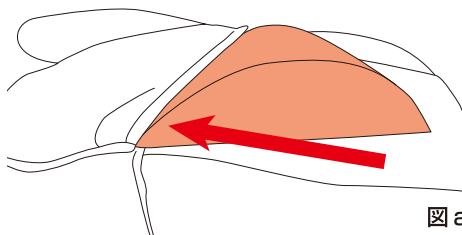


動画で解説
シートカバーの
取付け方法



警告

ソフトパッドは、必ず正しい向きで
使用してください(図 a 参照)。
向きが異なると製品所定の安全
性能が発揮できないおそれあり
ます。



本体カバーの洗濯方法

 **ポイント** ヘッドレストクッション・インナークッションのお手入れ方法は P36 を確認してください。

ぬるま湯と中性洗剤を使用して、必ず手洗いしてください。
洗濯後は、乾いた布等で拭き取ってから、日陰で平干ししてください。



手洗い 30℃



漂白 NG



ドライクリーニング NG



タンブラー乾燥 NG



アイロン NG



日陰で平干し



注意

本製品のお手入れ時は洗濯機使用不可。※カバーが縮む原因となります。



警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガンリン、ベンジンなどの有機溶剤の使用は絶対にしないでください。
本体やベルトを傷めるおそれがあり大変危険です。

本体と肩ベルト・腰ベルトのお手入れ

固くしぼった布で水ぶきをしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落として、水ぶきしてください。
水ぶきした後は、日陰でしっかりと乾燥させてください。

バックルのお手入れ

バックルの中のゴミを掃除機で吸い取るか、エアダスター等で汚れやゴミを吹き飛ばしてください。
バックルタングは、固くしぼった布で水ぶきしてください(中性洗剤等は使用しないでください)。



警告

- ・タングを差し込んだ際、バックルが緑の表示になったことを必ず確認してください。
- ・タングを差し込んでも、バックルが緑の表示にならない場合は、絶対に使用しないでください。

保管方法

- 安全で乾燥した場所に保管して、熱や直射日光をさけてください。
- お子さまの手の届かない場所に保管してください。
- 本製品の上に重いものを置かないでください。
- バックルタングはバックルに差し込んだ状態で保管してください。

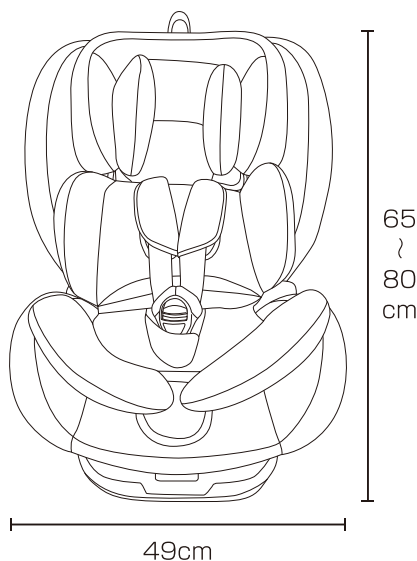
製品情報

本体サイズ

奥行き：53～71cm

幅：49cm

高さ：65～80cm



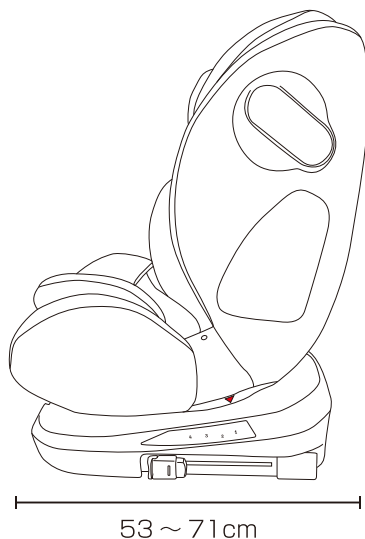
材質

本体：高密度ポリエチレン

カバー生地：ポリエステル

インナークッション：ポリウレタン

サポートレッグ：スチール(圧延鋼材)



廃棄方法

- お住まいの各自治体の規定に従い処分、破棄してください。
- 衝突事故や本製品を落下させるなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。
- 再利用による事故を防ぐため、廃棄する際はシートカバーを外してから廃棄してください。

取扱説明書の保管方法

本製品をご使用いただく前に、必ず本書をよく読み、十分に理解の上取扱説明書収納ポケット（メッシュ）にて保管してください。



Neb:O

輸入販売元 株式会社中塚小児車工業所

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL 079-298-2279 FAX 079-292-6026

受付時間 10:00 ~ 12:00 13:00 ~ 16:00

(祝祭日を除く 月~金曜日)